

オンプレミス ホスティング

VS

マルチテナントクラウド

エンタープライズアプリケーションベンダーに期待すべき能力
拡張性と耐障害性。継続的なイノベーション。低いTCO（総所有コスト）。早期のTime to Value実現。

01

拡張性と耐障害性

オンプレミス/ホスティング

様々な種類のワークロードに対して手作業で拡張構成するため、大体はオーバーサイジングになる

ハードウェアを静的にサイジングする必要があり、処理量が少ない時はハードウェア使用率が低下し、ピーク時にはパフォーマンスの問題が発生する

IT部門は絶えず業務ニーズへの対応に追われ、静的なサイジングでは結果的にコストが増大する

フェイルオーバー、インフラの耐障害性に手作業で対応する

マルチテナントクラウド



アプリケーション内の自動スケーリング機能がさまざまな種類のワークロードに対して自動拡張する



近代的な製品アーキテクチャによる極めて弾力性の高いアプリケーションが、負荷に応じて自動的にスケールアップ/スケールダウンする



弾力性の高いアーキテクチャが、他の実装方法よりもはるかに効率的な低コストソリューションを実現する



AWSとアベイラビリティゾーンを活用して迅速に障害復旧、高い耐障害性を実現する

02

継続的なイノベーション

オンプレミス/ホスティング

ソフトウェアを手動でアップデートする必要があり、バージョンの違いができる

最新リリースにアップグレードしなければ新機能を利用できない

頻繁なソフトウェアのアップグレード、テスト、検証に時間とリソースがかかり高額になる



ダウンタイムなし、あるいはゼロに近い状態で製品アップデートを定期的自動実行する



お客様が機能のオン/オフ切り替えをコントロールして新機能をプレビュー可能



インフォアがすべてのアップグレードを定期的実施。お客様はコスト負担なしでアップグレード

03

低い総所有コスト

オンプレミス/ホスティング

ホスティングされたアプリケーションは弾力性がなく、ピーク時のパフォーマンスに合わせてサイジングが必要でハードウェアコストが高額になる

お客様が自社のセキュリティ・インフラストラクチャとリソースを管理しなければならず、セキュリティコストが高額になる

オンプレミス実装の場合、大半の作業が手作業プロセスのため、運用コストの削減効果は小さい



近代的な製品アーキテクチャによる非常に弾力性の高いアプリケーションで、ハードウェアコストを大幅に削減



オンプレミスに比べて低いセキュリティコスト。インフォアとAWSは多層レベルのセキュリティに対応するベストプラクティスを実装



パフォーマンスの最適化、監視、パッチ適用、アップグレード統合、テストなどの運用コストを大幅に削減

04

早期のTime to Value実現

オンプレミス/ホスティング

ハードウェアとソフトウェアのバージョンに依存するため、アプリケーションのインストールに時間がかかる

ホスティングでは、アベイラビリティゾーンやリージョン間のデータ自動複製がなく、ハードウェアとソフトウェアの障害対応が必要

フェイルオーバー、インフラの耐障害性に手作業で対応



ハードウェアやソフトウェアの心配をせずに、自動プロビジョニングで極めて迅速にアプリケーションを稼働させる



AWSのアベイラビリティゾーンとレプリケーションが自動的に障害対応



AWSのインフラストラクチャによって、予期せぬアプリケーションのダウンタイムは大幅に減少、稼働率向上が生産性向上に直結

セキュリティとコンプライアンス

物理的セキュリティ

ネットワークセキュリティ

運用セキュリティ

アプリケーションセキュリティ

ポリシーとプロセス

監視と管理

マルチテナントクラウド

AWSとのプレミアパートナーシップによる世界トップクラスの物理的な施設

職務の分離と多層型防御アーキテクチャによるセキュリティ

保存データと転送中データの暗号化、証明書セキュリティに一元管理、最小権限の認証モデル

OWASPの脅威分析・是正、脆弱性・侵入テスト、セキュリティのベストプラクティスを開発サイクルの一部に組み込み

ISO 27001認証、NIST 800-53準拠、SSAE18評価、SOCレポートの年次公開

動的なパスワード管理、イミュータブル（不変）なSIEM収集・分析、ITILベースのインシデント・問題・変更管理プロセス

マルチテナントクラウド

モダンなアーキテクチャ



ビジネスプロセス統合、BI、アナリティクスなどのコンテンツをあらかじめパッケージ化し、導入アクセラレータとして提供



iPaaS (IaaS) プラットフォームを介して、アプリケーションの実装方法に関係なく他のアプリケーションと統合



拡張性と弾力性の高いInfor Data Lakeデータ管理プラットフォーム



業界標準のPaaSプラットフォームを介して、標準ソフトウェアの拡張機能を作成可能



クラウドベースのアナリティクス、人工知能、データドリブンなアプリケーションを利用可能



クラウドで事業継続性を担保する

事業継続性を脅かす6つのシナリオと、基幹業務システムをクラウドへ移行するべき理由について、詳しくはベストプラクティスをダウンロードしてご確認ください。

ダウンロード →